

「ピンチをチャンス」と捉えて!
貝塚中学校区育成委員会 会長
日暮 規夫

新年度も三ヶ月余りが経過しましたが、コロナウィルスの出現により日常活動が制限されています。昨日、桜木小評議員会が開催され、授業風景に接しました。全ての児童がマスク着用、今では見慣れた光景はあるものの、色や形も様々、機能・個性・工夫など感じました。どのクラスもハツラツとした態度に安堵。通常の教育活動に加え感染防止対応に対し、教職員の方々に敬意を表します。

当育成委員会は、コロナ禍、まん延防止の観点から、様々な活動を自粛しています。現在は、登下校時の交通指導・見守り等の活動に限られています。見えない病原菌にどの様に防御するか…。第一には衛生の徹底、自身から実践でしょう。読書・家族との会話が増えた、ピンチをチャンスに、そして与えられた物での生活も工夫をすれば新たな夢が広がる(十五歳)散歩・自宅階段で運動不足解消(十五歳)と某紙コラムに掲載されました。自己研鑽・新たな発見と捉え、一考する機会としたいものです。

ワクチン接種が進展していますが、収束に

は時間をするでしょう。委員会活動も限られていますが、青少年の健全育成に向けて、「見守る」ことも活動の一つ、皆様のご理解ご協力をお願いします。

校訓「自主・創造・練磨」

貝塚中学校 校長 北島 啓行

は時間をするでしょう。委員会活動も限られていますが、青少年の健全育成に向けて、「見守る」ことも活動の一つ、皆様のご理解ご協力をお願いします。

育成委員会の皆様におかれましては、パトロールや地域点検活動をはじめ、多くの行事を通じ、生徒の健全育成及び安全・安心のためにご尽力いただき、感謝申しあげます。

昨年度は、新型コロナ感染症対策で、様々な学校行事が中止や延期となりましたが、今年度は新しい生活様式や実施方法を検討し、教育活動を進めていきたいと思います。

現在、学校現場では、GIGAスクール構想や間もなくやってくる“Society5.0”に向けて体制を整えているところです。これにより、生徒が主体的に情報を収集・整理・選択を行い、学ぶ楽しさを身に付け、確かな学力をもち、得た知識や経験を活用できることが必要不可欠となってきます。新しいスタイルの学校教育に向けて、学校運営を進めてまいりました。

このような社会情勢の中でも、地域の中で



第50号

令和3年7月吉日
貝塚中学校区
青少年育成委員会

桜木小学校に着任して

桜木小学校 校長 古川 健志

四月に桜木小学校に着任しました校長の古川です。

令和三年度は、全校児童数七百七名、教職員数四十名で教育活動が始まり、早くも三ヶ月が経とうとしています。子どもたちを見てみると、大きな声でいさつすることや行事に一生懸命取り組むことができており、明るく前向きな子が多いです。

行事においては、五月の運動発表会では、六年生が準備、運営をしっかりと計画し、取り組むことができました。コロナ禍のため、競技は各学年とも、徒競走とダンスのみでしたが、子どもたちの真剣に頑張る表情と六年生の応援団が送るエールで笑顔が見られ、皆が元気になる行事となりました。

このように、子どもたちが素直に育つているのは、協力的な保護者の皆様や地域の皆様に支えられているからだと思います。

七月は、十九日から夏休みに入ります。昨年度は二週間という短い休みでしたが、今年は六週間に亘ります。子どもたちには、事件・事故に巻き込まれないように事前の指導を十分に図つてまいりますが、育成委員会の皆様には、子どもたちの見守り等でお力添えを

活きる生徒であつてほしいと願います。育成委員会の皆様には、今後とも生徒の見守りをよろしくお願いいたします。

学びの保障と充実に向けて

北貝塚小学校 校長 大矢 郁乃

令和三年度、地域との豊かな交流と伝統ある北貝塚小学校に着任しました校長の大矢郁乃です。どうぞよろしくお願ひいたします。

今年度は、感染症対策を講じた新しい生活様式は継続しながら、例年と同じ四月から新年度がスタートし、入学式も四月八日に行うことことができました。昨年度の実践を生かし、従来の行い方を大きく見直し、入学式やスポーツイベント、学習参観は、三つの時間帯に分散して行ったり、始業式や集会は校内放送を活用したりなど行い方を工夫して実施しています。昨年度は見合わせていた委員会活動やクラブ活動もスタートしています。

引き続き、学校ならではの学びの保障と充実に取り組んでいきます。

子供たちはマスクの着用、手洗いの徹底、三密の防止、給食の黙食など守るべきことを根気強く続けています。これはまわりの人を大切にする、支え合う優しい気持ちの表れです。家庭・地域の皆様の温かなはぐくみの賜物と心から感謝申し上げます。

間もなく、子供たちが楽しみにしている夏休みを迎えます。今後も、育成委員会の皆様におかれましては、子供たちの健全育成のために、お力添えをいただけますようお願いい

ます。

このような社会情勢の中でも、地域の中で

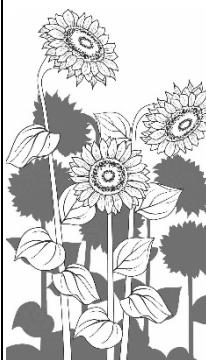
頂けると幸いです。本年度も子どもたちの健

全育成のためにご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

今年度の主な事業計画

- ◎育成だより発行（広報部：年間2回）
 - ◎夏休み対策活動（7/19～8/27）
 - ◎デイキャンプ（協力会：8月）
 - ◎青少年相談員日帰りバス旅行（青少年相談員：8月）
 - ◎交通安全指導（福祉・交通安全部：8/30）
 - ◎青少年の日・家庭の日（9/18）
 - ◎地域ぐるみ一斉点検パトロール（12/4）
 - ◎冬休み対策活動（12/24～1/5）
 - ◎交通安全指導（福祉・交通安全部：1/6）
 - ◎学区点検パトロール（環境・非行対策部：1/15）
 - ◎書き初め展（健全育成部：2月）

一方、六月になつてから不審者情報が多くなつています。内容は盗撮やつきまといで、保護者から警察に通報していただくとともに、学校からも教育委員会や青少年サポートセンターに連絡をしてパトロールを依頼するなど、職員による放課後パトロールも強化しています。貝塚中学区育成委員の皆様にも、子どもたちの見守りをお願いできればと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



編集後記

コロナ禍により世界は多くの人々が亡くなり傷ついてきました。現在も収束にはほど遠い状況ですが、人類の英知により少しずつ新しい生活スタイルの中、学校も元に戻りつつあります。育成だよりも少し間隔が開いてしまいましたが、新年度になり先生方の異動もあり、発行の運びとなりました。

八街市での通学児童の列に飲酒運転のトラックが突っ込み多くの子供たちが亡くなり、大怪我をするという悲惨な事件がありました。貝塚中学校区青少年育成委員会は児童・生徒の安全をあらためて考えなければなりません。(広報部)

ソーシャルからファイジカルへ
—蒙口至交 賀五郎

貝塚中学校 教頭 石塚 直樹

いとこうことです。

「子供たちの豊かな学びのために」

北貝塚小学校教頭 君島 啓徳

中華人民共和國農業部令
二〇〇〇年九月二十二日

地域住民の青少年問題に対する理解を深め、地域青少年年間問題調査機関・団体の相互の連絡調整を行ふことを図るための組織であると書かれた健生育成活動委員会の推進団。

一 豊かな個性の育成・適調の精神をもつて、坦々ぐれぬために、主に就労問題、やがて青少年の健生育成を推進する。

二 大人が率先して、マナー等マナーの低下を是正する努力をする。特に学校の児童青少年に影響を与える人物和田等の専門機関を除かし、他の児童青少年団、団體、生徒会などから成る組織を通じて、様々な被験者との往来がなされる。

三 「親しみとやさしさ」として、家庭教育の充実を図り、子育て支援の家庭教育の重視性の啓発と家庭教育の普及を図る。

四 近所や地域での親睦・相談の環境を作り、共同で団體・生徒の扶助を行なうための取組みを積む。

五 推進団